

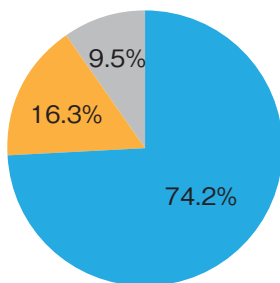
住宅侵入窃盗 (空き巣・忍込みなど)

被害に遭うと、大切な財産を失うだけでなく、精神的にも「見知らぬ者が自宅に侵入した」という大きなショックを受けることになります。

主な手口や特徴

- 住宅侵入窃盗は平成30年中、2,595件で前年と比べると52件（2.0%）増加しています。
- 侵入口は窓からの侵入が7割以上を占めています。
- 侵入手口は空き巣が6割以上を占めています。
- 現金のほか貴金属やパソコンなどの換金可能な物、健康保険証やパスポートなどはすべて狙われます。
- 被害にあった後、犯人が警察官等を装って、盗んだキャッシュカードの暗証番号を聞き出して、現金を引き出すなどの手口もあります。

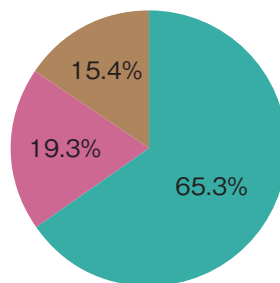
侵入場所



(平成30年)



手口別



(平成30年)



犯行が行われやすい住宅・環境

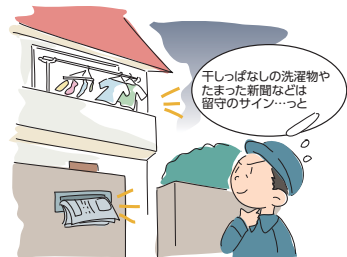
- ①道路から見えにくい位置に出入り口や窓がある。
- ②高い塀や植木等により道路からの死角が多い。
- ③公園や駐車場など、誰もが自由に出入りできる場所に面している。
- ④道路と敷地に仕切りがなく、誰もが自由に敷地内に入れる。
- ⑤住宅のベランダが、塀などから近く、2階に容易に上がれる。
- ⑥敷地内に2階への足場となる脚立などが見える場所に置かれている。
- ⑦ご近所つきあいがない。
- ⑧夜間になっても洗濯物が干したままで不在だとわかる状況にある。

上層階でも注意を！



住宅侵入窃盗の主な手口

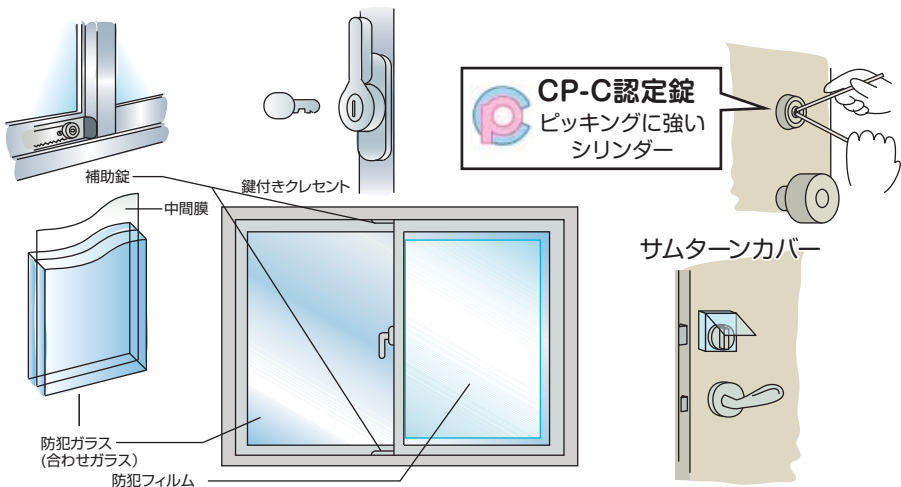
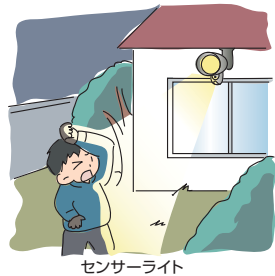
- 空き巣…家人が不在の住宅に侵入する
- 忍込み…家人が就寝した頃を見計らって侵入する
- 居空き…家人が在宅中、昼寝や食事をしている際に侵入する



被害を防ぐためには

①侵入を防ぐために

- 在宅時・不在時を問わず、ドアや窓の鍵をきちんとかけましょう。
- ゴミ出しなどのわずかな時間でも鍵をかけましょう。
- ひとつのドアや窓に鍵をふたつ以上取り付けましょう（ワンドア・ツーロック）。
- 窓は、防犯ガラスにするか、防犯フィルムの貼り付けや、頑丈な面格子を取り付けましょう。
- 防犯カメラ、防犯アラーム、センサーライトなどを利用しましょう。
- サムターンカバーやピッキング対応錠を取り付けましょう。



- エアコンの室外機など、侵入の足がかりになる部分には、フラワーポットを置くなどの工夫をしましょう。
- 家の周囲の整理整頓に努め、侵入の足がかりとなるもの（空き箱など）を放置しないようにしましょう。
- 庭に防犯砂利を敷くと、歩くたびに音が出るので、防犯に効果的です。

②留守と分からないようにするために

- 外出時は、明かりをつけておくか、電源タイマーを利用しましょう。
- 旅行などの時は、新聞や郵便物を止めてもらいましょう。

③見通しのきく構造に

- 塀や植栽などを見通しがきくように工夫しましょう。

④被害を最小限にするために

- 多額の現金を家に置かないようにしましょう。
- 通帳や貴金属などだけでなく、マイナンバー、パスポートや健康保険証なども保管場所を工夫しましょう。

⑤近隣との連携を

- ご近所同士、あいさつをしましょう。
- 旅行などの時は、ご近所に声をかけて出かけましょう。

